ひょうごローズクラブ
Hyogo Rose Club

Scent of Roses

バラの香り

http://www.rosehyogo.jp

表紙のバラ　‘マダム・ピエール・オジェ’（神戸市西区　池田さん邸）

第10号
2012.1

ひょうごローズクラブ活動報告

ひょうごローズクラブの本年度4月から12月末までの活動の様子を報告します。

総会・記念講演会

6月18日(土)に、湊川神社　楠公会館で、平成23年度総会と創立5周年記念講演会を開催しました。

▲梶みゆき氏

榎本三枝子氏 ▶

今回は、音楽家姉妹による、ヴァイオリンとピアノのアンサンブルでスタートです。ソリストの谷本華子さんが奏でるのは、クライスラーのヴァイオリンの名曲「愛の喜び」、「愛の悲しみ」、「美しきローズマリー」などなど…間近で聞く生演奏の音色が和空間の会場に染み入りました。今年度も来賓として井戸知事をお招きし、創立5周年を祝っていただきました。

総会議事は、平成22年度事業実績、収支決算、平成23年度事業計画などが提案され、全て原案どおり承認されました。

総会後には記念講演会を開催しました。

第1部は、バラ研究家の梶みゆきさん。梶さんは、30年以上前に主婦業の傍ら河口湖畔の自宅でバラづくりを始め、農薬を使うのが当たり前と思われたバラ栽培であえて無農薬栽培を果敢に試み、その成果を発表。バラを愛する女性たちの間で大ブレイクしました。今回の講演では、「365日の内100日咲くバラ」をオーガニックで育てるための「みゆき流」テクニックを、スライドで紹介していただきました。季節の移ろいと共に刻々と変化していく梶さんのスローライフの世界、「生き物が命を紡ぐ庭」を多くの参加者が一度訪ねてみたいと思われたことでしょう。

第2部は、日本ハーブティー協会理事長の榎本三枝子さん。「こころを満たすハーブティー～魅惑のローズで美しく、健康に～」と題して、ハーブ・アロマテラピーの魅力を分かりやすくお話いただきました。ローズジャム入りローズティーも準備していただき、ホッと一息できました。

例年通りの豪華な切り花や肥料・農薬の展示、県下バラ園のパネル紹介もあり、会場は華やぎました。終了後は、切り花を花束にして、会員の皆様に差し上げました。美しい姿と芳醇なバラの香りをご自宅でも楽しんでいただき、記念講演会のお話や音楽に思いをはせていただけたことと思います。

講習会

「バラの達人養成講座」

開催日：7月～翌2月に計5回
場　所：県立播磨中央公園四季の庭（バラ園）
講　師：前野　義博氏
（ひょうごローズクラブ理事・（有）確実園本園）

バラについて基礎から総合的に学ぶ定番の実習講座です。これまで既に多くのバラ愛好家の方々が受講されました。

バラの種類と特性、土づくり、日々の管理、増やし方、病害虫防除の仕方、剪定、ツルバラの手入れと誘引など、バラ栽培について総合的に学ぶために、5回にわたって指導していただきます。

講座終了後には、修了書をお渡しし、バラの苗木をプレゼントします。今年度は、濃厚な香りを持つ黒バラ，ナイトタイム　を用意しました。会員の方は受講料2，500円が無料になる特典もあります。

『バラについては充分知っているわ』と思われている方も、来年度是非参加してみて下さい。新たな発見がたくさんあるはずです。

視察研修旅行

「クリフトンat京阪＆国華園」

開催日：10月21日（金）
行き先：クリフトンat京阪（枚方市）
　　国華園（和泉市）
参加者：明石発　44名　　宝塚発　21名

今年度の研修旅行の一押しはなんと言ってもあの小山内健さんの登場です。NHK趣味の園芸の講師を務める、大人気のローズソムリエです。

イングリッシュガーデンショップ「クリフトンat京阪」は、5つの英国式庭園や日本庭園の他に、オシャレな園芸グッズを販売するショップも併設されています。そこを小山内さんのガイドで見学する贅沢な時間でした。楽しいバラトークと優しい笑顔に惹かれるように、小山内さんの周りにはいつも参加者の輪が出来ていました。

小山内さんと親しいひょうごローズクラブ理事で園芸コンサルタントの藤岡友宏さんにも参加いただき、あちこちでバラ談義が繰り広げられていました。

昼食後は、テレビやラジオでおなじみの総合園芸会社国華園に行きました。

日本菊花全国大会が開催中で、芸術的な美しさを競い合う作品を愛でることができました。参加者の買い物カゴには、盛りだくさんの苗、球根、野菜、果物、園芸資材…「持って帰れるかしら…？」と心配しながらも購買意欲炸裂でした。

講習会

「バラの色と香りを楽しむテクニック」

開催日：10月23日（日）
場　所：須磨離宮公園
講　師：星川　雅子氏
（ひょうごローズクラブ理事・神戸布引ハーブ園副園長）

ひょうごローズクラブの総会や講習会ではすっかりお馴染みとなった星川雅子さん。その活動が徐々に実を結び、ハーブとしてのバラの魅力をとことん伝えたいという星川さんの熱意と行動力が受講者の皆さんに熱いものを訴えかけます。

バラの花びらに熱湯を注いだローズティーとバラの花びらのピクルスを作っていただき、星川さんお手製のローズクッキーとともに参加者の皆さんに味わっていただきました。また乾燥バラから作ったローズウォーターで、引き締め効果、保湿効果バツグンのアストリンゼントローション作りを披露され、バラと塩のマリアージュによるボディーケアソルトと共にお土産にいただきました。

バラの意外な魅力と効能を知り、心が癒やされ、美容効果のある贅沢なお土産もあり、受講者の表情は和らいでいました。

講習会

「プチセレブランチ＆とっておきのハーブのお話」

開催日：11月17日(木)
場　所：ザテラスオブ神戸パシフィック
講　師：松尾 あや子氏(ハーブコーディネーター)
　　若松 康史氏(花と緑のまちづくりセンター緑の相談員)

恒例になった講習会とランチを組み合わせた企画です。

場所は、ミナト神戸を象徴するメリケンパーク海洋博物館2階のレストラン、ザテラスオブ神戸パシフィック。港の風景が窓いっぱいに広がる開放的なロケーション。講師はハーブコーディネーターの松尾あや子さんと、花と緑のまちづくりセンター緑の相談員で、NHK趣味の園芸講師の若松康史さん。

松尾さんには、ハーブの写真やハーブを利用した手作り小物を紹介しながら、衣・食・住にハーブを取り入れたライフスタイルを手軽に楽しめるノウハウを提案していただきました。キッチンをオシャレに飾り、しかも実用的なスパイスローブ制作の指導もしていただき、クリスマスに向けての素敵なお土産になりました。

若松さんには、ご自宅で栽培された植物の写真を使って、バラをより楽しむため、バラを引き立て共に楽しめる植物について、庭の専門家の立場からアドバイスをいただきました。

食事は、『幸せをよぶセラピー レシピ』の著書で知られ、フランスの星付きレストランで修行し、著名ホテルの総料理長等の経験を持つ緒方幾起シェフ監修の「ひょうごローズクラブスペシャルランチ」をいただきました。バラの花びらを散らしたサーモン料理や美しいグリーンの特製ローズティーなど、バラに因んだ料理を特別に用意していただき、味だけでなく、目にも美味しいフレンチを楽しみました。

盛りだくさんの内容に、参加者の皆さんに満足していただけたことと思います。

講習会

「今年のクリスマスもプリザーブドフラワーのアレンジで迎える」

開催日：12月2日(金)
場　所：花と緑のまちづくりセンター
講　師：平尾 ひろ子氏(フラワーコーディネーター)

クリスマスをイメージした清楚な雰囲気のアレンジメントを作りました。プリザーブドフラワーの魅力が広く浸透してきたせいか応募者も多く、定員を25名に増やして賑やかに行いました。

ゴールドの星形リース上に、アジサイとバラのプリザーブドフラワー※1、ガラスボール、木の実、そして今回は優雅な香りのソラフラワー※2もあしらいました。華奢なプリザーブドフラワーの扱いに苦戦しながらも、上品に仕上げました。講習会の後、ローズジャムをトッピングしたクラッカーと紅茶で、講師の平尾先生を囲んで和気あいあいのひとときを過ごしました。

※1　プリザーブドフラワーは、1991年にフランスで開発され、近年世界中に広まりました。花の美しい姿を長期間保存が出来るように、専用の溶液を用いて加工したものです。

※2　タイ原産のマメ科の低木ソラの木の皮を薄くスライスして乾燥させたものを，一つ一つ手作りで花びらの形に成形して作った造花。きめ細やかな繊維質が、香りの成分と色素をキレイに吸い上げる特性を生かし、アロマオイルなどを吸収させてほのかに香らせる今話題の素材です。

夫婦二人三脚で、バラとニホンミツバチとの共生を目ざす

奥深いバラの世界

第10回

神戸市西区のご自宅でバラを育てながら、今年度からオープンガーデンをされているひょうごローズクラブ会員、池田美雪さんご夫妻にお話をうかがいました。

バラとの関わりはいつ頃からですか？

バラは元々好きでしたが、手間と場所が要るので、10年前ここに引っ越した当初は、管理を楽にしたいと考え、庭を狭くしてパンジーなどの草花を植え、バラは旧宅から持ち込んだピエール・ドゥ・ロンサール1本だけを玄関横に植えました。玄関周りの壁面を高く覆い、毎年綺麗に咲いてくれています。ツルバラは、狭い場所でも大きく見栄えよく育ち、手間もかからないことから、ツルバラを中心に少しずつ株数を増やしていきました。今では100品種ほどになっています。

主人はバラに興味はなかったのですが、剪定などの作業ではどうしても手伝ってもらわなければならず、協力してもらっているうちに徐々にバラが好きになっていったようです。

お好きなバラの品種は？

以前はピエール・ドゥ・ロンサールでしたが、今はガラス細工のように華奢で透明感のあるマダム・ピエール・オジェが気に入って、玄関前に植えています。

（表紙の写真参照）

ご主人はニホンミツバチを飼っておられるんですね。

梶みゆきさん※の著書で、ニホンミツバチのことを読んで興味をかき立てられました。住宅街なので躊躇したのですが、思い切って巣箱を作って設置したところ、今年の春に群がさっそく入り、初めてにしてたくさんのハチミツが採れました。待ちに待った群が来たときは、ジェット機のような凄まじい音がして、あわてて外に飛び出したものです。ハチミツは小瓶に分けて知人たちに味わってもらいました。

しかしニホンミツバチは繊細ですからね。バラに殺菌剤は定期的に散布していますが、害虫は毎日2～3時間、家族総出で手で取ります。虫が来ないようにするにはどうしたらいいか二人でいつも思案し、いろいろ試しています。

※バラ研究家。
今年度ひょうごローズクラブ記念講演会講師

奥様と相談しながら
ピエール・ドゥ・ロンサール
を剪定するご主人

オープンガーデンを始められたんですね。

バスに乗っているお客さんの目の位置に我が家のバラがちょうど見え、以前から季節になると花を見に訪ねて来られる方がいました。昨年第12回神戸まちなみ緑花コンクールで大賞をいただいたことがきっかけで、今春初めてオープンガーデンを行いました。台風2号の接近で大雨の中にもかかわらず、多くの見学者が来てくださいました。

インタビューを終えて

ご夫婦と息子さん夫婦4人で出迎えて下さり、お庭の美しいDVDを拝見しながら、楽しくお話を伺うことが出来ました。DVDは息子さんが2007年から制作を任されて、「大変なんですよ」と苦笑されていましたが、ご家族がバラとニホンミツバチで結びついていることが伺われ、とてもほっこりした気分になれました。息子さんは動画投稿サイトYouTubeにも投稿され、年間8000件以上のアクセスがあったそうです。

バラやニホンミツバチのことを話されているときのご主人の活き活きとした表情とそれを楽しそうに聞いて相づちを打たれる奥様の笑顔、それを見守る息子さんご夫婦の姿がとても心に残りました。

ひょうごローズクラブ会員
池田美雪（いけだみゆき）さんご夫妻（神戸市西区）

ひょうごのバラ園
クローズアップ

奇跡の星の植物館
「ローズガーデン」

第12回

アンジェラのアーチに迎えられ、ローズウォークを歩くと、「奇跡の星の植物館　ローズガーデン」に到着します。世界の花文化をテーマとする奇跡の星の植物館に満を持して登場したローズガーデンは、「モダンローズガーデン」、「オールドローズガーデン」、「ワイルドローズガーデン」といったバラの育種の歴史でゾーン分けされており、バラの歴史に出会うことが出来ます。

A：モダンローズガーデン

１年を通じてバラの花を楽しむのはこのゾーンです。1867年に発表された「ラ・フランス」以降に作出されたバラはモダンローズと言われていますが、ここではツルバラ、修景バラ、シュラブローズ等のバラを相性のよいクレマチスやハーブと組み合わせてデザインされています。

モダンローズガーデンには、マリア・テレジア、マリー・アントワネット等の王族やダ・ヴィンチ、ピエール・ド・ロンサール等芸術家にちなんだ名前のバラや人気のイングリッシュローズがあります。

ラ・フランス

B：オールドローズガーデン　ージョセフィーヌの庭ー

バラの香りを楽しむならこのゾーンといえるでしょう。ここでは15世紀以前から存在していたガリカ系、ダマスク系、アルバ系、ケンティフォリア系、モス系、チャイナ系に加え、19世紀に飛躍的にふえたブルボン、ノワゼット、ポートランド、ハイブリッドパーペチュアル、ティ等の系統別にコレクションされ、それぞれの香りを楽しめる庭になっています。

ナポレオンの妻ジョセフィーヌは、マルメゾン宮殿に300種を超えるバラを栽培し、四季咲きの中国のバラ等アジアのバラも集め、品種改良を重ねていました。彼女が死んだ後も品種改良が続けられ、1867年には最初のハイブリッドティーローズ「ラ・フランス」が作出されました。

中央に配置されたガゼボにはエンプレス・ジョセフィーヌ、シャポー・ド・ナポレオン、マルメゾンと名づけられたオールドローズに加え、最初のモダンローズであるラ・フランスが仲良く植栽されています。

エンプレス・ジョセフィーヌ

C：ワイルドローズガーデン

バラはヨーロッパの花文化の中心的存在ですが、数万種を超える現代バラの祖となすのはわずか8種の野バラで、そのルーツは中央アジアを含め、アジア地域に分布します。

ワイルドローズガーデンでは、コウシンバラ、テリハノイバラ、ロサ・ダマスケナ等、中国、日本の原種のバラをはじめ、中近東のバラの原種が栽培されています。

野バラは観賞価値が低いとされていますが、ロサ・カニナのようにローズヒップが取れるバラ等、バラの赤やオレンジの実が冬のローズガーデンを楽しませてくれます。

シャポー・ド・ナポレオン

奇跡の星の植物館　ローズガーデン

営業期間	10：00　－　18：00
休　　み	7月、11月の第2木曜（臨時休館日あり）
料　　金	奇跡の星の植物館　一般600円　但し、ローズガーデンは無料
アクセス	高速舞子からバスで20分　淡路夢舞台下車。
問い合わせ先	淡路市夢舞台４　TEL：0799－74－1200

殿堂入りのバラの物語

第2回

ピース

園芸コンサルタント
ひょうごローズクラブ理事
藤岡　友宏

ピースは、世界バラ会連合「初代」殿堂入りの名花です。育種家のフランシス・メイヤンが米国のバラを学んでフランスに戻り、{(ジョージ・ディクソン×スブニール・ド・クロージュ・ペルネ）×（ジョンナ・ヒル×チャールス・ピー・キラム)}×マーガレット・マグレディーの交配で取れた800粒の種子の中から、1936年に作出したと伝えられています。その後世界7カ国で試作され、1942年にフランスで発表後、米国に渡って、1945年に売り出されました。

最初はフランシス・メイヤンの母の名を取って、マダム・アントワーヌ・メイヤンと名付けられました。その後、特許権を買ったアメリカのコナード・パイル社が、第2次大戦のベルリン陥落にあやかって、ピースと命名したと伝えられています。

ピース　HT

ピースは、クリーム黄色の、直径が16㎝以上になる大輪で、花弁が45枚前後あります。半剣弁で盛り上がるような抱え咲きになり、一花としての存在感は群を抜いています。葉は大きく濃い緑の照り葉で、木は太く丈夫で、大きな株に育ちます。香りがないのが惜しまれます。後に枝変わりで、花弁の表が赤、裏が黄色のクローネンブルグ、ローズピンクのシカゴ・ピース、5m以上も伸びるツル性のピース等が生まれています。

クローネンブルグ　HT

ピース　HT

1946年にオール・アメリカン・ローズ・セレクション(AARS)金賞、1947年に英国のナショナル・ローズ・ソサエティー(NRS)金賞の他、5箇所で賞を得ている名花中の名花です。

ピースの優れた性質を生かすため、世界中のバラ育種家が交配親として利用し、ロイヤル・ハイネス、スターリング・シルバー、スーパー・スター、ローズ・ゴジャール等の名花を生んでいます。メイヤン自身もピースを使って、コンフィダンス、ミッシェル・メイヤン、モンテカルロ、グランメール・ジェニイ等を発表し、バラ育種家として確固たる地位を得たのでした。フランシスの没後も、息子のアランと夫人のルイゼットが後を継いで、切り花用のソニヤ、フロリバンダのチャールストン、ミニバラで初めて美しい花形を持つスタリナ、ツルバラのピエール・ドゥ・ロンサール等の名花を次々と今も発表し続けています。

日本には、昭和24年の横浜貿易博覧会に初めて切り花が送られて来ました。今までになかった花の大きさとすばらしさに驚き、当時日本では春苗が10円程度だったのに、ピースは、100円もの値段が付けられ、戦後のバラ・ブームを引き起こしたのでした。

ピース　CL・HT（ツル性）

バラのイベント情報

参加費以外に入園料、駐車料金が必要な場合があります。
★は会員様向け招待券持参で入園料が無料になります。
各講習会は事前予約が必要ですので、問い合わせ先にご確認下さい。

時　　期	テーマ・内容等	場　所	参加料等	問い合わせ先	TEL
1月27日(金) 14:00～16:00	バラ冬季剪定講習会	山手ばら園	無料	神戸市中部建設事務所 公園緑地係	078-511-0515
1月30日(月) 14:00～16:00	バラ冬季剪定講習会	高塚公園バラ園	無料	神戸市西建設事務所 公園緑地係	078-912-3782
2月3日(金)	バラの接ぎ木	花と緑のまちづくりセンター	600円 会員無料	花と緑のまちづくりセンター	078-918-2405
2月4日(土) 13:00～15:00	バラの冬剪定と管理	西宮市 北山緑化植物園	1,500円 (苗付き)	西宮市北山緑化植物園	0798-72-9391
2月4日(土) 14:00～16:00	達人技ガーデニング講座	あいあいパーク カルチャー教室	2,700円	あいあいパーク カルチャー教室	0797-89-5933
2月5日(日)	バラ冬季剪定講習会	姫路ばら園	1,000円	姫路ばら園	079-264-4044
2月5日(日) 13:30～15:00	バラの剪定と植え付け	神戸市立花と緑のまち 推進センター	100円	神戸市立花と緑のまち 推進センター	078-351-6756
2月5日(日) 10:00～	冬のバラ剪定実習	フラワーセンター	★	フラワーセンター	0790-47-1182
2月8日(水) 13:30～	冬のバラ剪定講習会	北播磨余暇村公園	100円	北播磨余暇村公園 管理事務所	0795-32-1543
2月14日(火) 13:00～14：30	バラのお手入れ② ～冬の管理方法～	芦屋市総合公園	800円	芦屋市総合公園 管理事務所	0797-38-2103
2月17日(金) 13:30～15:30	バラの冬季剪定講習会	日岡山公園育苗園	500円	日岡山公園育苗園	079-426-6443
2月18日(土) 13:30～15:30	バラづくり～冬剪定とバラの 接ぎ木をしてみよう～	尼崎市都市緑化植物園 (上坂部西公園内)	1,000円	尼崎市都市緑化植物園 (上坂部西公園内)	06-6426-4022
3月16日(金) 13:30～15:30	バラづくり ～芽かきと切り戻し～	尼崎市都市緑化植物園 (上坂部西公園内)	500円	尼崎市都市緑化植物園 (上坂部西公園内)	06-6426-4022
5月上旬～ 6月下旬予定	春のローズフェスティバル 期間中様々なイベントを予定	須磨離宮公園	★	須磨離宮公園	078-732-6688
5月20日(日)	あなたとバラの撮影会 (プロのカメラマンによる)	姫路ばら園	1,500円	姫路ばら園	079-264-4044
5月20日(日)	浅見均氏によるバラの園芸相談	姫路ばら園	無料	姫路ばら園	079-264-4044
5月下旬予定	バラの花後の管理	西宮市 北山緑化植物園	1,000円 (苗付き)	西宮市北山緑化植物園	0798-72-9391
5月20日(日)～ 6月3日(日)	春のばらまつり	播磨中央公園 四季の庭	無料	播磨中央公園管理事務所	0795-48-5289
5月中旬～ 7月中旬予定	英国＆バラフェア	六甲ガーデンテラス	無料	六甲ガーデンテラス	078-894-2281
6月中旬～ 7月中旬予定	ローズウォーク シーズンオープン	六甲山カンツリーハウス	無料	六甲山カンツリーハウス	078-891-0366
6月～翌2月予定	バラの達人養成講座(5回講座)	播磨中央公園 四季の庭	2,500円 (会員無料 苗付き)	播磨中央公園管理事務所	0795-48-5289

ひょうごローズクラブ会員募集

年間の活動・入会特典

バラシンポジウム、各種講演会、講習会・展示会の開催
会報誌「バラの香り」の発行
県外のバラ園への研修旅行
ホームページでの情報交流
県内のバラ園、イベントへのご優待

バラのある暮らし　一緒に楽しみませんか？

みなさまのご意見・ご感想をお待ちしております。

〒673-0847　明石市明石公園1番27号
花と緑のまちづくりセンター内
ひょうごローズクラブ事務局
TEL 078(918)2405　FAX 078(919)5186
info_midori@hyogopark.com